

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
 ☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>  
 第671号 2026年1月18日

## 新年のご挨拶

主任司祭 ミカエル鈴木 真



皆さん、新年明けましておめでとうございます。

昨年は聖年の教区指定巡礼地として、山手教会の聖堂に実にたくさんの方々をお迎えすることができました。その際に、本当に多くの方々にお働きいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

昨年の12月28日（日）に、司教司式の閉幕のミサがささげられましたが、昨年1年間のさまざまなことが頭に浮かび、感慨深い思いでした。閉祭に歌われた聖歌「希望の巡礼者」も、昨年後半には少し飽きてきた思いでしたが（笑）、これが歌い納めだと思いと改めていい曲だなあ…とってしまいました。

よく「ミサ」は非日常の場、と言われます。ミサでいただいた、さまざまな恵みを、ミサの終わりに「日常」へと派遣されることで、多くの人々と分かち合いなさい…と言われているのですね。「聖年」も同じだと思います。

昨年たくさんの方々をお迎えした中で、こちらもいただいた恵みを、今年は、より多くの方々と分かち合えるような1年になれば、と思います。

本年もどうぞ、よろしく願いいたします。

## 新年のご挨拶

助任司祭 ヨセフ トラン・ヴァン・グエップ



山手教会の皆さま、新年おめでとうございます。

新しい1年の初めにあたり、主の恵みと平和が皆さまの上に豊かに注がれますよう心よりお祈り申し上げます。

過ぎた1年、さまざまな出来事の中で支え合い、信仰を分かち合ってくくださった皆さまに深く感謝いたします。

今年も主に導かれ、希望と喜びをもって歩む共同体でありますように。皆さま一人ひとりの上に、神さまの祝福とご守護が常にありますよう、お祈りいたします。

※グエップ師からは、日本語で寄稿いただきました。（編集部）

## 新教会委員会委員長・新年のご挨拶



この度、小倉前委員長より指名を承りました宮 裕一（みや ゆういち）と申します。日頃より教会報『やまて』や『ヨゼフ会便り』を通じて、また主日のミサや「子どもとともに、ささげるミサ」で

カメラを手に聖堂内を動き回ったり、プロジェクターの設営をしている私の姿を見かける方も多い

かと存じます。

2026年より委員長という大役を仰せつかり、その責任の重さに身が引き締まる思いです。至らぬ点多々あるかと存じますが、皆様のご支援とご協力を賜りながら、誠心誠意、務めを果たしてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、2019年から始まった新型コロナウイルス禍を経て、私たちの生活からは、かつての制限が消えつつあります。同時に、新型コロナという言葉自体耳にすることがなくなりましたが、教会活動においては、ミサの参列者数や諸活動の活気など、今なおその影響が色濃く残っていることを実感せざるを得ません。かつての活気を取り戻すことは決して容易なことではありませんが、今こそ、信徒の皆様お一人おひとりの「参加」が教会の力になると信じています。

カトリック山手教会は横浜教区の司教座聖堂であり、毎年多くの新しい兄弟姉妹が誕生する、希望に満ちた共同体です。洗礼を志願されている方、新しく受洗された方、そして、長年、教会を支えてこられたベテランの皆様、その多様な力が一つとなり、教会活動がより豊かなものとなるよう、皆様と共に具体的な施策を考え、実行していきたいと願っております。

2026年も、皆様と心をつなげて祈りつつ、主の平和のうちに歩んでまいりましょう。新年の喜びとともに、皆様のお幸せをお祈り申し上げます。

## ヨゼフ会会長・新年のご挨拶「カーワックス」



2026年度も、またヨゼフ会会長を続けさせていただくことになりました。よろしくお願い申し上げます。

表題の「カーワックス」は、教会報『やまて』第97号（1977年9月発行）に当時の主任司祭の加藤忠男神父が寄稿された巻頭言のタイトルです。

私は、その頃は十代半ばで受洗前の身でしたが、教会の発行物にしては一風変わったタイトルが目にとまり、手に取ったのを覚えています。

テレビCMにひかれ、新製品の「ふき取り不要のワックス」を試したものの、宣伝ほどの効果が得ら

れず購入店に聞いたところ、このタイプは事前に十分な洗車が必要だと言われたといいます。従来型のワックスは塗って乾いた後に白い粉が出るが、これが汚れを落とす成分で、ふき取ることで汚れも落ちるのだと知らされたそうです。

これを聖体の秘跡にたとえており、聖体を受けることで自動的に罪が清められるものではなく、その前に「痛悔（つうかい）の心」を持つことが大切で「私たちは漠然とミサにあずかり聖体を受ければ恵みが与えられる」と考え、心の汚れはそのままに、その上にワックスを塗って、簡単にピカピカになったように思っていないだろうか？秘跡は受けた後に、きれいにふき取り磨き上げる従来型ワックスのようなものでありたいと結んでいます。

私は半世紀近くたった今でも、この話を座右の銘の一つにしているのですが、未だ変わらぬ自分の不完全さや過ちの多さは情けない限り。自己流の解釈を加えるならば、お恵みを受ける前に、まだまだやるべきことがあるだろうという結論になるわけで、ヨゼフ会の活動をはじめとした教会への奉仕活動も、ひとつのミッションとして感謝の気持ちを持って受け入れるものだと思うのです。

ヨゼフ会は、成年男性信徒による奉仕グループです。月例会は、毎月第2日曜日の9時30分より司祭・信徒館「松竹の間」で行っています。

お気軽にご参加ください。

### <2026年度ヨゼフ会役員>

会 長：岡崎芳浩

副会長：久保田 智洋、時久 毅

会 計：石澤正夫

幹 事：稲見友一、小倉 謙、志村光祥、末澤二郎  
田中広一、坪井 暢、古谷信彦、二宮正樹  
宮 裕一、柳川晋一、吉田幸一

※幹事名は五十音順

監 事：青木 淳

相談役：佐藤康夫

（ヨゼフ会 会長 岡崎芳浩）

## ロザリオ会新年度を迎えて



ロザリオ会は、教会の使命及び活動に寄与するとともに、会員相互の親睦をはかることを目的としています。

昨年は、四旬節の黙想会から始まり、復活祭・堅信式のパーティー料理準備、神田教会・調布教会巡礼、講演会、横浜みこころ幼稚園のチャリティーバザー協賛などを実施しました。

新しい試みとして、6月のコンサート及び9月の講演会当日にワンコインサービスを企画し、サンドイッチとコーヒーを販売しました。また横浜みこころ幼稚園のチャリティーバザーでは、パンプキンスープを作り販売に参加し、いずれも好評でした。

通常聖年において、山手教会が横浜教区唯一の巡礼指定聖堂になり、たくさんの小教区の教会グループが巡礼に訪れました。ミサ後、教会ホールで季節に合わせた飲み物とお菓子を用意して喜ばれました。

巡礼グループの接待は、役員をはじめ会員の皆様にもお手伝いを呼びかけ、大勢の方が協力をしてくださいました。皆様には、感謝とお礼を申し上げます。

巡礼グループのミサに私たちも参加し、「希望の巡礼者」を共に歌い聖堂に広がる歌声は、「聖年」という名の下で交わりの場を与えてくださった神様に感謝するとともに、喜びに満たされました。

ロザリオ会は1952年に設立されて以来、長い年月継続してきましたが、役員のみならず手不足で存続の危機もありました。その間にも、ロザリオ会主催のミサ(第1金曜日)をささげておりました。家庭会が持ち回りでミサの進行を担当し、共同祈願も自分たちで作成し、お互いの信仰を支え合う祈りの場となっております。またミサ後の例会は、話し合いを通して会員相互の親睦がはかれるように行なっています。

今年もロザリオ会の行事に参加して、会員の交流を深めていきましょう。

### 2026年ロザリオ会役員紹介

リーダー：藤原泰子

サブリーダー：古谷浩子

会計：桑原優子、黒 アキラ、小沢 三枝子

総務：山本 紀志子、富谷玲子

名簿管理：井上 恵理子、川越愛奈

連絡係：松本尚子

(ロザリオ会 リーダー 藤原泰子)

## 主の降誕夜半ミサ

12月24日(水)横浜雙葉学園講堂で、ICC(国際コミュニティ)と合同の「主の降誕夜半ミサ」が執り行われ、1階席は、ほぼ満席となりました。

午後7時半から日本の聖歌隊が主体となり、外国籍の聖歌隊のメンバーも加わってミサ前のキャロルが演奏されました。曲目は「ひさしくまちにし」(日本語・英語)、「ゆうやみせまる」(日本語)、「ああベトレヘムよ」(日本語)、「もろびとこぞりて」(日本語)、「In the Bleak Midwinter」(英語)、ラテン語によるグレゴリオ聖歌「O Magnum Mysterium」でした。

午後8時からラファエル梅村昌弘司教主司式、鈴木真師、グェップ師、祖父江優太師による共同司式でミサがささげられました。

聖歌は、入堂前に聖歌隊によりグレゴリオ聖歌「Dominus Dixit」が歌われ、入祭「しずけき」(日本語・英語)、栄光の賛歌「Glory to God」(英語)、奉納「まきびと」(日本語・英語)、感謝の賛歌「Holy」(英語)、拝領中には聖年賛歌「希望の巡礼者」が日本語と英語で交互に歌われ、会場は大いに盛り上がりしました。

梅村司教は「神は無償の愛をくださっています。愛は決してほろびることはありません。神の愛に応えましょう」と説教を締めくくり、最後に使徒的祝福をいただいて、ミサが終了しました。



聖歌隊



上から共同司式、使徒的祝福

(編集部：撮影・宮 裕一 文・土方芳人)



上：鈴木真神父様のギターに合わせて歌う 中：サンタさんからプレゼント 下：笑顔がはじけました

(撮影：教会学校 リーダー 古山 久美子)

文：牧野 真規子)

## 「教会学校クリスマスの集い」

12月7日、教会学校の年内最後を締めくくる「クリスマスの集い」が行われました。鈴木真神父様とグエップ神父様も参加してくださり、トーンチャイムの清らかな響きの中で会はスタート。急遽、グエップ神父様も結びの一音を響かせてくださり、その姿に子どもたちの目はキラキラと輝いていました。

鈴木神父様からは、お祈りと「待降節に大切なこと」についてお話をいただき、子どもたちは皆、真剣な表情で聞き入っていました。その後、大好きな神父様のギター伴奏に合わせて声を合わせ、心を一つにしました。

リーダーからのプレゼントは、切り絵絵本『ファーストクリスマス』の朗読。ライトアップされた美しい絵にシターの音色が重なり、子どもたちは静かに聞き入っていました。

最後に、この会のメインである主のご降誕を待ち望む準備として、神様や家族、友だちへの感謝を考えてお手紙にし、オーナメントに入れ、「感謝のプレゼント」を奉納しました。子どもたちの純粋で温かな言葉に、私たち大人も心が洗われるような、恵み豊かな集いとなりました。

## 教会大掃除の報告

～心を込めて主を待つ準備を～

待降節を迎え、降誕祭への準備が進む12月6日(土)、山手教会聖堂および教会ホールの大掃除が行われました。当日は、ICC(国際コミュニティー)の皆様をはじめ、非常に多くの方々にご参加いただきました。また今回は、AOS(船員司牧)を通じて、横浜港に入港中の外国籍乗組員の方々も駆けつけてくださいました。カトリック信徒が多い船員の皆様へ、AOSからは毎年クリスマスプレゼントとして毛糸の帽子を贈っていますが、こうした交流が奉仕の輪となって広がったことは、大きな喜びでした。

作業は、聖堂の会衆席にある歌集の整理に始まり、座席の移動、掃き掃除、ワックスがけ、そして、内陣に至るまで、皆様が丸丸となって励んでくださ

いました。特に、床を傷つけないよう細心の注意を払いつつ重い椅子を動かす作業では、ICCや船員の皆様の力強いサポートのおかげで、驚くほど迅速に進めることができました。

掃除の後は、きれいになった教会ホールでロザリオ会の皆様が準備してくださった手作りカレーを全員でいただきました。共に汗を流した後に囲む食卓は、まさに一つの家族のような温かなひとときとなりました。

年2回の大掃除ですが、私たちの祈りの場をいつまでも大切に守り続けていけるよう、皆様の温かなご協力に心より感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



上から床掃除 ひとつになった仲間たち  
(教会委員会 委員長 宮 裕一)

きたいと考えています。今回も参加団体からのお礼の言葉を届けさせていただきます。

#### 【一の会】

- ・2度目の参加で和菓子も売れたし、ほかの事業所さんともふれあえてよかったです。
- ・初めての参加です。すばらしい鐘の音に感動しました。和菓子もほぼ完売でうれしかったです。
- ・参加させて頂きまして、ありがとうございました。これからも、よろしくお願ひします。

#### 【ろばの家】

本日販売の機会を頂きありがとうございます。皆さん、あたたかく接して頂き、心があたたかくなりました。お客様に、もう少しわかりやすい表記(英語)があったらいいと思いました。メンバーさんも、お客様にたくさんお買い求めいただき、とてもやりがいがあり喜んでいました。

#### 【サーラー】

よい天気でもよかったです。広く場所を使わせて頂き、ありがとうございました。また、よろしくお願ひいたします。



(福祉委員会 委員長 大森秀樹)

### ICC主催「降誕祭の祈りとキャロルの夕べ」

#### ミニ福祉バザー開催の御礼

11月30日に今年度第2回目のミニ福祉バザーを開催することができました。好天にも恵まれて、多くの皆様のご来場を賜りましたことを感謝いたします。これからも教会の皆様と地域で活躍されている福祉団体の方々が触れあえる機会を提供できればと考えております。今後も、教会の皆様が気軽に参加していただけるようなミニバザーを目指してい



日曜日9時30分ミサの聖歌隊

今年も「降誕祭の祈りとキャロルの夕べ」を行いました。いまICC（国際コミュニティ）に司牧者はいませんが、戸部教会からラジュ神父が来ていただいて、祈りをリードしてくださいました。

前年と同じようにインド人のカレンさんが幹事になって、全部計画をしてくださいました。彼女は日常的に日曜学校を担当して30人の生徒がいますので、かなり忙しいです。司会は、いつものようにギルバートさんがしてくださいました。彼は、いま千葉に住んでいますが、キャロルのために、いつも山手教会に戻ってきます。去年と今年は、彼が運営しているゴスペルクワイアを連れてきました。

そのほかには、いつものように日本人の聖歌隊から演奏を始めて、ICCの土曜日と日曜日のクワイア（聖歌隊）と子どものクワイアが次々と歌いました。今年は、子どもたちが大勢いました。今年はフランスとフィリピンのクワイアがいませんでしたが、その代わりに、インド人のクワイアが勢力を増していました。ラジュ神父もインド出身ですので、インド人たちと一緒に歌いました。

プロ並みがいて、初心者もいましたが相変わらず、みな楽しく歌いました。最後に、みな聖堂の入り口の方を向いて2階席から記念写真を撮りました。



これで終わりではありませんでした。みなは教会ホールへ下りて、リンダさんたちが準備してくれたポットラックパーティーを始めました。食べ物を祝福した後に、みなは飾ったテーブルに座って、順番に呼ばれて食べ物を取りに行きました。おいしいフィリピン料理とマレーシア人のカレンさんが持ってきてくれたマレーシア鍋もありました。去年いた背の高いサンタクローズのドラゼンさんは転勤になりましたので、今年はサンタさんがメキシコ

から来て子どもたちに飴とクッキーを配りました。いつものように、よいクリスマスの準備でした。

（文：ICC代表 Pierre SEVAISTRE

撮影：編集部 土方芳人）

※ピエールさんからは、日本語で原稿をいただきました。

（編集部）

## 2026年度・信徒大会のご案内

～心をひとつに、新しい歩みを始めましょう～

2026年度の信徒大会を、下記のとおり開催いたします。今回の大会では、新しく選出された教会委員のご紹介とともに、これからの山手教会をより活気あるものにするための活動方針をお伝えします。

私たちの共同体が、さらに豊かで温かい場所となるよう、皆様の声を大切に歩んでいきたいと願っております。お忙しい中とは存じますが、ぜひ、お誘い合わせの上、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2026年2月8日（日）11時30分ミサ終了後

場所：聖堂

内容：教会委員の紹介、本年度の活動方針、財務報告、質疑応答など

（教会委員会 委員長 宮 裕一）

## 2025年12月度教会委員会議事要約

日時：2025年12月7日（日）午後1時～3時20分

場所：司祭・信徒館1階「松・竹」

議事内容（議事進行：小倉委員長）

### 1 主な審議確認検討事案 ※順不同

#### (1) 聖堂及び司祭・信徒館の消防設備について

- 聖堂及び司祭・信徒館の消防設備点検の結果、消防局からの指摘事項に対する是正のための見積もりを取得したので承認されたい。

#### 【決定事項】

- ・承認する。
- (2) 菊名教会への非常用ストーブ貸出について
  - 菊名教会の空調設備が故障し暖房が使えなくなっている件について、先方の希望があれば山手教会の非常用ストーブの一部を貸出したい。

## 【決定事項】

- ・先方で審議いただき、希望される場合には一部を貸出可能とする。

## (3) 駐車場管理の奉仕について

- ・駐車場管理の奉仕について進展がないので、警備会社に頼むことも含めて期日を決めて審議されたい。

## 【決定事項】

- ・来春をめどに警備会社に依頼する方向で検討する。

## (4) 今後の一般観光客受け入れについて

- ・一般観光客を大型バスなどで受け入れるにあたっては、懸念事項が多いので、今後は、お断りすることも念頭に審議されたい。

## 【決定事項】

- ・一般観光客の受け入れは布教活動になることでもあるため、今後はルールを明確に提示し、遵守することを条件に受け入れる。

## (5) 聖年の閉幕について

- ・教区事務所より聖年の閉幕ミサについて協力要請があった。

## 【決定事項】

- ・内容どおり対応する。

## (6) 主の降誕夜半ミサについて

- ・準備のためのお知らせ、看板、ガードマンなどについて確認されたい。

## 【決定事項】

- ・今年は例年どおりとする。

## (7) 成人の祝福の日程について

- ・成人の祝福の日程は、2026年1月11日（日）の11時半ミサとしたい。

## 【決定事項】

- ・承認する。

## (8) 来年のコンサートについて

- ・2026年12月27日を第1希望、12月6日を第2希望として開催を希望したい。

## 【決定事項】

- ・両日とも日程が他の行事と重なるため不可とする。

## 2 今後の活動、報告事項

## 【来年の教会委員会について】

- ・委員長は交代する。各委員会についても信徒大会に向けて確認をおこなう。

## 【飛鳥Ⅲクルーのためのミサについて】

- ・12月23日（火）に飛鳥Ⅲクルーのためのミサを行う。

## 【除草と樹木の手入れについて】

- ・除草と樹木の手入れについては作業済み。防草シートの設置は年明けに行う。

## 【司祭・信徒館エレベーター更新工事日程について】

- ・1月の2週目よりエレベーター更新工事を行う。

## 【共同宣教司牧サポートチーム研修会について】

- ・傾聴の講座が年明けに3回実施されるので、周知されたい。

## 【キッチンのドリンクなどについて】

- ・持ち主不明のドリンクなどが台所に相当数存在するので、今後、記名のないドリンクなどは消費可とする。

## 【ヨゼフ会より】

- ・ヨゼフ会の次回の映画上映は、3月の第3週付近で調整して行う予定。今後は季節行事として実施し、他の会との協力連携もはかっている。

## 【福祉委員会より】

- ・福祉バザーへの協力御礼。今後はICCと共同での行事などを計画中である。その他の会との気軽な交流からの共同もお申し出いただきたい。

## 【チャリティー委員会より】

- ・11月9日（日）のパイプオルガンコンサートより、教会へオルガン維持のための寄付を行なった。
- ・11月11日（火）女声合唱団アイリスグロウより教会へ献金があった。

## 3 主任司祭から

- ・病者の聖体拝領について希望する方の情報があれば、共有いただきたい。
- ・ICCの第2日曜日の英語ミサは、戸部教会のラジュ師にお願いし、代わりにグェップ師が戸部教会に行っている。

- ・3月の教会委員会は、横浜雙葉学園の卒業式と日程が重なるため、翌週の3月8日（日）へ変更したい。

- ・コロナ禍以降、観光客が増えているが、聖堂は祈りの場であるということを今一度アピールする必要がある。

## 4 次回教会委員会

2026年1月11日（日）午後1時～3時終了予定。

（総務担当 斎藤 悠美子）

2026年 1月・2月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

主 日	聖 歌			聖歌隊	時 間	奉 仕 者				備考
	答唱詩編	アレルヤ唱	ミサ曲			オルガン	先 唱	聖書朗読		
1月4日	主の公現	典136 ①②③④	典258 主の公現	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	渡 邊	竹之内	新井田	阿部(眞)	
					7:30	手 束	石 賀	鈴木(幸)	鈴木(由)	
					* 11:30	手 塚	山本(紀)	清水(美)	雨宮(み)	
11日	主の洗礼	典23 ①②③	典258 主の洗礼	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	村 松	齋藤(悠)	小佐井	福田(直)	
					7:30	中 川	二 宮	東海林(珠)	時 久	
					* 11:30	佐 藤	遠 藤	石田(明)	中野(説)	
18日	年間第2主日	典54 ①②③	典271 年間2A	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	太 田	工藤(元)	飯塚(秀)	志村(光)	
					7:30	渡 邊	末 澤	久保田(智)	萩原(恵)	
					* 11:30	米 沢	小 山	中川(由)	佐伯(奈)	
25日	年間第3主日 (神のことばの主日)	典73 ①②⑥	典268 年間3A	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	手 塚	宮	工藤(元)	島田(節)	
					7:30	小 嶋	亀 井	古谷(浩)	藤本(茂)	
					11:30	中 川	子どもとともにささげるミサ			
2月1日	年間第4主日	典19 ①③④	典271 年間4A	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	村 松	柳 川	工藤(元)	櫻井(智)	
					7:30	中 川	石 賀	武内(千)	武田(登)	
					* 11:30	手 塚	山本(紀)	後藤(由)	紀國谷	
8日	年間第5主日	典99 ③④	典268 年間5A	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	村 松	竹之内	新井田	阿部(眞)	
					7:30	小 嶋	二 宮	田口(利)	神近(千)	
					* 11:30	佐 藤	遠 藤	室崎(理)	木原(真)	
15日	年間第6主日	典75 ①④	典271 年間6A	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	手 塚	齋藤(悠)	小佐井	福田(直)	
					7:30	渡 邊	末 澤	吉光(基)	間部(有)	
					* 11:30	米 沢	小 山	池田(恵)	上瀧(聡)	
18日	灰の水曜日	典6 ①②	典261 ③	ミサ曲A 典605~9	11:30	太 田	選定中	選定中	選定中	
22日	四旬節第1主日	典6①②,7①	典260 第1主日	ミサ曲A 典605~9	前日pm5:00	村 松	工藤(元)	飯塚(秀)	志村(光)	
					7:30	手 束	亀 井	東海林(正)	津久井(暁)	
					11:30	中 川	子どもとともにささげるミサ			

編 集 後 記



北アルプス・穂高連峰 2009年8月北穂高岳より土方撮影

あけましておめでとうございます。  
今年も、より良い山手教会報作成のため編集部員一同、努力しますので、皆様のご支援をよろしく願います。

太田康子、古山 久美子、竹之内 弘美  
田中麻子、中島晶子、土方芳人  
古谷浩子、宮 裕一、渡邊敏行

(編集長 土方芳人)

☆表紙のカット(山手教会)は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。